

シイの実通信

令和6年11月
発行：大島地域青少年育成推進協議会
(鹿児島県大島支庁総務企画課内)
〒894-8501 奄美市名瀬永田町17-3
TEL：0997-57-7218 / FAX：0997-57-7219

令和6年度 鹿児島県青少年育成県民会議総会・県民会議表彰



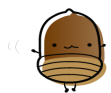
6月6日(木)に令和6年度鹿児島県青少年育成県民会議総会が開催されました。県民会議副会長原之園政治氏からは、地域連帯の希薄化、ニートやひきこもり、薬物犯罪等の昨今の社会状況から、社会全体で青少年育成活動に取り組むことが重要だとの話がありました。

県民会議表彰では、個人の部(青少年育成指導者の部)で6名、団体の部(青少年育成団体の部)で2団体が表彰されました。議事では、令和5年度の事業報告があり、令和6年度の活動方針及び事業計画について案が出され、承認されました。

また、九州厚生局麻薬取締部捜査第一課捜査係長の常光祥平氏から「薬物乱用の実態～大麻事犯の増加～」と題した講演がありました。近年、20歳未満の大麻事犯が増加しており、大麻を初めて使用した経緯として「誘われて使用した」が大半を示していることやインターネットのX(旧ツイッター)で入手できること等、若者の身近なところで薬物の取引がされていることが報告されました。また、市販薬乱用経験のある高校生の特徴として以下の点が紹介され、社会全体で青少年を見守り、薬物乱用を防止する環境づくりが重要であることが伝えられました。

市販薬乱用経験のある高校生の特徴

- 1 男性より女性が多い。
 - 2 生活習慣での特徴(睡眠時間が短い、朝食を食べない頻度が高い、インターネットの使用時間が長い)
 - 3 学校生活での特徴(学校が楽しくない、親しく遊べる友人や相談ができる友人がいない)
 - 4 家庭生活での特徴(親に相談できない、大人不在で過ごす時間が長い、家族との夕食頻度が少ない)
 - 5 コロナ禍による自粛生活に対するストレスが高い。
- (薬物乱用と生活に関する全国高校生調査2021 国立精神・神経医療研究センター)



令和6年度 大島地域青少年育成推進協議会 総会

7月18日(木)に大島支庁にて令和6年度大島地域青少年育成推進協議会総会が開催されました。各市町村担当者、警察、関係機関が一堂に会し、昨今の青少年を取り巻く現状について大島児童相談所、各警察署から報告がありました。大島支庁からは、令和5年度事業実績、令和6年度事業計画について説明を行いました。

また、大島支庁地域保健福祉課保健技師木藤千春氏からは、「青少年の自殺の現状と私たちに出来る支援について」と題した講演があり、講演後には、参加者から活発な意見が交わされました。

私たちにできる支援

気づき

周囲の人の変化に気づいて声をかける

傾聴

本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける

見守り

温かく寄り添いながらじっくりと見守る

繋ぎ

早めに専門家に相談するよう促す

声かけ

悩んでいる人がいたら、勇気を出して声をかけてみる



ふるさと

令和6年度 夏の「郷土に学び・育む青少年運動」特色ある取組の紹介

奄美市「子ども会対抗球技大会」



試合の様子

大会は、全6チーム約100名が出場し、試合では熱戦が繰り広げられるなか、珍プレー好プレーも飛び出し会場は歓声に包まれました。

試合間では相手チームと練習を行ったり、会話を楽しんだりするなど、様々な交流が見られて有意義な大会になりました。

8月24日(土)、奄美市名瀬地区子ども会育成連絡協議会の主催で、毎年恒例となっている「子ども会対抗球技大会」(ドッジボール大会)を開催しました。

試合の審判は各チームの保護者が務め、開閉会式の司会は、ジュニアリーダークラブ「TsuMuGi」が務める等、市教委、保護者が一体となって大会運営を行いました。



優勝した上方チーム

龍郷町「龍郷町子ども会スポーツ大会」



参加者全員で記念撮影

らラウンドしました。入賞したチーム・個人には賞状や副賞として金・銀・銅バッチなどを授与し、最後に記念撮影をしました。今後も親しみやすいスポーツを取り入れ、子ども会の交流を図っていきます。

龍郷町子ども会スポーツ大会は、町内の単位子ども会の親睦と活動の活性化に資するために、毎年、夏休み期間の8月上旬に開催し、今年は町政施行50周年記念大会となりました。以前はドッジボールなどの競技を取り入れていましたが、近年は夕方の涼しい時間帯からグラウンドゴルフを行っています。今年も各子ども会でチームを編成し、初めてクラブを握る子どももいましたが、町グラウンドゴルフ協会からの協力もあり、打ち方などを教えてもらいなが



*** 管内その他の取組 ***

大和村 「大和っ子スクール」(自然観察体験学習)
・ 大和ダム見学, 湯湾岳登山, カレー作り

瀬戸内町 「ざ・シマ学第2弾 防災キャンプ in 瀬戸内町」

- ・ 救急救命士による講習, テント設営, 非常食づくり等

宇検村 「やけうちっ子環境学習 世界自然遺産 博士講座」

- ・ 海の生き物観察会(タエン浜にて)
「ケンムン学習」
・ ケンムンや昔の集落の様子のお話

喜界町 「夏休み親子サマースクール」

- ・ 草木染め体験教室, 島のお菓子作り教室等
「社会を明るくする運動 結成式」
・ 委嘱状交付式, 社朗朗読, 講話等



令和6年度 夏の「郷土に学び・育む青少年運動」 特色ある取組の紹介

喜界町「喜界町・伊佐市交流リーダー育成サマーキャンプ」

喜界町教育委員会が主催する「喜界町・伊佐市交流リーダー育成サマーキャンプ」を8月6日から8月8日まで2泊3日の日程で、喜界町休養村管理センターを主会場に開催しました。

喜界町の児童・生徒が14名、伊佐市の児童・生徒が19名、計33名が4つの班に分かれて活動しました。

喜界島の観光スポットめぐりや石敢當を探す「石敢當探しクエスト」を実施しましたが、班で協力しながら生き生きと活動していました。その他にも、人権同和教育や喜界島の歴史について学び、シマ唄・民謡体験、農業体験、磯遊び・サップ体験などを行い、「仲良くなれた」「いい体験ができた」など、とても好評でした。

次回は、伊佐市で開催予定です。今後も喜界町と伊佐市の絆を大切にしていきたいと思います。



石敢當探し



サップ体験

※ **石敢當** (いしがんどう) : 集落の道や門の近くにたてられた魔よけの一種

知名町（知名字育成会） 「夏休みおつかレー会」

セミも鳴かぬほど暑かった令和6年の夏休み、毎日のラジオ体操、町の舟漕ぎ大会や相撲大会、字の清掃活動と一生懸命頑張ってくれた子供達へ、地域の婦人会より、手作りカレー提供のお話があり、「夏休みおつかレー会」を開催する運びとなりました。

地域の婦人会とお母さん達でカレーを作り、お父さん達でカキ氷を振る舞い、ラジオ体操皆勤賞の子供達8名を表彰しました。

子供40名、大人20名、子供達の笑顔溢れる盛大な会となりました。子供達の力で地域、そして島を盛り上げるべく、引き続き楽しく活動してまいります。

余談とはなりますが、台風襲来で船が1週間来ていなかったこの日、カレー材料とカキ氷の氷を入手するために島中のお店を走り回ったのは良い思い出です。



参加者全員で記念撮影

*** 管内その他の取組 ***

喜界町「早町小 学級レクリエーション」

- ・ 各学級PTAレクリエーション

徳之島町「徳之島町インターンシップ教育事業」

- ・ 中部・関西圏にて職場体験・職場見学

天城町 「もちたばれ」 (兼久集落)

- ・ 集落内の家を回り、踊って、お礼のお菓子をもらう集落行事「ふるさと学寮」(西阿木名小中、三京分校)
- ・ 五右衛門風呂体験、星空観察等

伊仙町『いせんチャレンジ教室「かけっこ塾」』

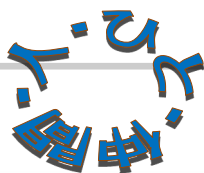
- ・ 講師から走り方の基礎を学ぶ

和泊町「和泊町リーダー研修会」

- ・ ビーチコーミング、文化交流等

与論町「着衣水泳」

- ・ ペットボトルを使って浮く練習等



青少年育成活動で活躍されている方を紹介します。



今回は、宇検村で平成21年頃から約15年ほどボランティアとして、
子どもたちの見守り・声かけ活動をしている『前島 ^{まえしま} のぶひと さん』をご紹介します。

前島さんは長年、宇検村で土木業を営んでおり、お世話になった村に対して退職後に何かしら恩返しをしたいという思いから、毎朝、子どもたちが安心・安全に登校できるように、見守りや声かけなら自分にできると活動を始めたのがきっかけだったとのこと。

初めは知らないおじさんが声をかけるので、子どもだけでなく、大人も不審者ではないかと疑われたそうですが、その活動に賛同した仲間が今では村内に約10名も増え、村内の各校区でスクールガードとして活動が広がっています。

また、昨年度は、優しくあいさつしてくれたスクールガードの皆さんにお礼を伝えたいと村内のある小学生が夏休みの自由研究で作成した貯金箱で募金活動を行ったことも大きな話題となりました。

現在77歳の前島さんは、「できるうちは続けていきたい」「子ども達とあいさつを交わすだけで元気もらえる」「毎朝、楽しみだ」と活動を通しての生きがいを語っていらっしゃいました。



子どもたち一人一人とタッチをして「おはよう」「いってらっしゃい」と温かい声をかける前島さん

ニッセイ財団助成団体の紹介

ニッセイ財団では、児童・少年の健全育成を図ることを目的として、地域活動の一環として行う定期的・継続的な活動で子ども達が参加する自然体験・生活体験活動、仲間づくりや文化の伝承活動、地域の子育て支援活動に対して助成する制度を設けています。

2024年度 ニッセイ財団助成団体 「知名ジュニアベースボールクラブ」

知名ジュニアベースボールクラブは、野球の技術力だけでなく、人間力の向上を目標に様々な活動を展開しています。

その一環として、他地域との連携を積極的に進めており、今年度も与論島から数名の野球少年を受け入れています。合同練習、合同チームでの大会参加に加え、夏には初の試みとして与論島で合同合宿も行いました。これにより、子どもたちはもちろん、保護者や関係者同士の絆も深まりました。今後も継続し、各島での野球への関心を高め、団員の増加や練習環境の向上に繋げていく予定です。

また、地域の支えへの感謝を込めて、海岸清掃ボランティア活動や中学生大会での審判補助などの活動も行っています。

「全ての事に感謝の心」というスローガンのもと、今後も野球を通じて、人間力豊かな子どもたちの育成に努めて参ります。



ボランティア活動



与論遠征

かごしま地域塾

県では、次代へ引き継ぐ理念を持ち、地域に根ざし、自立・発展的な活動をしている異年齢集団「かごしま地域塾」登録団体を応援しています。

大島管内には、20のかごしま地域塾登録団体があります。
今回は、4団体の活動を紹介します。

篠川子ども会（瀬戸内町）

篠川子ども会では、地域の方々との交流を深めたいという思いから一緒にできることをメインに活動しています。

先生方にも協力していただき、地域の高齢者の方を招いてのグラウンドゴルフ大会は年齢を問わず一緒に楽しめるイベントです。



地域の方と八月踊り

また、島唄三味線を披露する場では、馴染みある島唄を耳にし、口ずさんでいる方もおられます。運動会や瀬戸内町のみなと祭りでは子どもたちも一緒に輪に入り八月踊りを踊るのも伝統の一つです。

ハブ退治の用心棒製作も子ども会の大事な役目です。20年近く続けられ、地域の方々の安全を守っています。自分たちで作り、各集落すべて歩いて交換してまわりますが、その数はなんと200本!大変ですが、とてもやりがいのある作業です。

地域の方々に育てられ、感謝の気持ちを示したい…との思いをこめての私たちの活動です。



ハブ退治の用心棒製作

徳之島闘牛太鼓（徳之島町）

徳之島闘牛太鼓は、昭和58年、当時の青年団と徳之島町観光課が「徳之島をもっと活気のある島にしたい」と、和太鼓集団を結成したのが始まりです。

徳之島の文化である闘牛のように迫力と激しさで熱気に満ち溢れるようにと名付けられ、一人一人が明るく、元気に楽しく、太鼓に打ち込んでいます。現在では、徳之島の闘牛文化の太鼓のリズムと、手舞いや方言を取り入れ、エイサーと融合させた創作演舞などを展開。

子供から大人まで、幅広いメンバーにより構成し、各種イベントや慰問、また、環境文化教育にも取り組み、世代間での交流をしながら、青少年育成活動を行っています。

卒業で島を離れ、徳之島へ戻って来た時に、今度は、自分の子供と一緒に太鼓をしてくれるメンバーも増えてきました。太鼓ができる喜びを、これからも、繋げていきたいと思います。



「えらぶ世の主伝説」わらんちゃヤンバル体験交流プロジェクト(和泊町)

なきじんそん

沖縄県今帰仁村との交流は、長らくオンラインでの交流が続いていましたが、令和5年度は久々の対面かつ和泊町での交流となりました。

史跡探訪ツアーではガジュマルやフーチャ、後蘭孫ハの城跡に赴き、和泊町の歴史を肌で感じました。謎解きツアーでは和泊町を歩いて回りました。このツアーで今帰仁村の

子たちと仲良しに!力を合わせて楽しく謎解きに励んでいました。

今年は今帰仁村に赴き交流します。伝説では北山王の時代から続く交流を今後も続けていきたいです。



参加者全員で記念撮影



世の主謎解きツアー

和太鼓組「誠」（与論町）

『思いどう運命、請いどう幸運』（思い願うことがその人の運命になり、請い願うことがその人の幸運に繋がる）を合い言葉に和太鼓組『誠』は平成21年5月に当時の与論小学校の校長先生によって設立されました。



練習風景

現在は小学生14人、指導者補助に中学生2人・高校生1人、指導者2名の19名で活動しております。週1回の練習では基礎打ちから始まり、中高生も指導側として携わることで、小学生と中高生の交流の場にもなり、また中高生の責任感を育てる場にもなっています。地域行事への参加はもちろんのこと、伝統行事である十五夜・豊年祭の一部として出演するなど自分たちも文化継承の役割を担っているのだと認識することで郷土愛を深めています。



ヨロン・沖縄音楽交流祭り

鹿児島県青少年保護育成条例とは？

- ・ 青少年を取り巻く社会環境を整備し、青少年の保護と健全育成を図ることを目的としています。

大島支庁では、鹿児島県青少年保護育成条例に基づき、7月～10月に市町村担当職員、警察署職員と三者合同で対象店舗の立入調査を実施しました。注意喚起のためのチラシを全調査店舗に配布し、地域ぐるみで青少年を見守る環境づくりの啓発に取り組みました。

家庭を基本とし、地域ぐるみで青少年健全育成の環境づくりをしましょう！

携帯電話のフィルタリング設定後、フィルタリングのパスワードは保護者が責任を持って管理してください。

カラオケ店等の興行場では、保護者同伴でも深夜11:00～4:00まで青少年の入店はできません。

ふるさと

「郷土に学び・育む青少年運動」強調月間 11月1日～11月30日

11月は、青少年の自立の精神と豊かな感性のかん養、国際的感覚やふるさとを愛する心の醸成を目的とした「郷土（ふるさと）に学び・育む青少年運動」の強調月間です。

期間中の関連運動

- ・ 秋の「こどもまんなか月間」（こども家庭庁） 11月1日～30日
- ・ 家族の週間（こども家庭庁） 11月10日～23日
- ・ オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン（こども家庭庁） 11月1日～30日
- ・ 麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動（薬務課） 10月1日～11月30日
- ・ 「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」（教育庁総務福利課） 11月1日～7日

大島地域青少年環境づくり懇談会

大島支庁では、関係業界、学校、警察、地域の関係機関・団体等が大島管内の青少年問題について情報交換を行い、相互の連携を深めるため、「大島地域青少年環境づくり懇談会」を開催します。

関係者の方々、ご参加の程、よろしくお願い致します。

日時：令和6年12月3日（火）14:00～15:30

場所：大島支庁4階大会議室

内容：現状報告、講話、意見交換等

まあるくなった

鹿児島県の「家庭の日」（毎月第3日曜日）の歌「まあるくなった」は、今は亡き坂本九さんに歌われていました。この「まあるくなった」は、昭和40年に「家庭の日」を制定した翌年に、作られました。

『まあるくなった』

作詞 滝田 常晴

作詞補 永 六輔

作曲 いずみ・たく

歌 坂本 九

まあるくなった 輪になった
つないだ手と手が ひとまわり
みんなの笑顔がつたわって
楽しく 輪になった
けんかをしたら 親なら子なら
そっぱを向いたら おかしいぞ
けんかをしたら 親なら子なら
そっぱを向いたら おかしいぞ